

参議院議員選挙結果について

予想通り自公与党が引き続き信任を得る結果となった。安定した政権運営のもとでアベノミクスをさらに加速させ、国民が景気回復の恩恵を確実に実感できるよう、これまで以上の覚悟で取り組みとの判断を下したと受け止めている。

今回は選挙権年齢が18歳に引き下げられて迎えた初の国政選挙だったが、今までの高齢者向けの政治を、若年層の政治参加により少しでも未来を担う若者の意思が今後の政治に反映されることになれば意義のあるものとは思いますが、若年層がどの程度投票義務を果たしたのかは、甚だ疑問である。

いずれにせよ、この選挙結果を裏切らない公約の具現化が、安倍首相には求められる。改憲勢力が3分の2を超えたが、まずはニッポン一億総活躍プランで掲げた道筋を着実に実行へと移し、経済最優先の方針を貫くとともに、人口減少の克服や社会保障財源の確保など、先送りできない課題に対して真っ向から向き合っていただきたい。改憲については、時間を掛け国民的課題として充分審議を尽くすべきである。

京都選挙区においては、現職が議席を確保することになった。地元・京都の声を国政に反映できるよう、精力的な議員活動に取り組んでもらいたい。

以 上

平成28年7月11日
京都商工会議所
会頭 立石 義雄